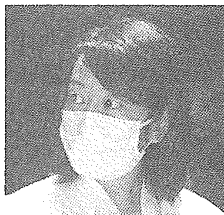


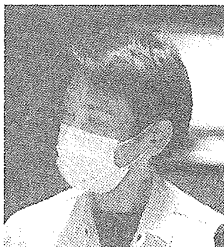
知恵を出し合い、笑顔で完成

主催 福井県コンクリート診断士会



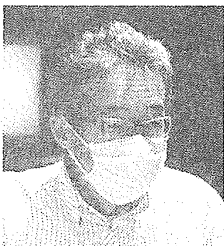
米澤氏

サンワコンの米澤美菜子氏 排水機場の変状と補修設計事例 荒川排水機場の土木構造物長寿命化計画(19年1月、福井県)に基づき実施。調査結果をもとに、補修対策として、ひびわれ補修工、断面補修工、目地補修工を行うこととした。



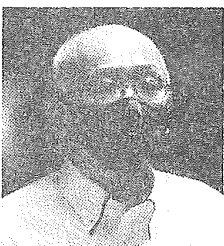
木村氏

日光産業の木村和則氏 排水機場ピットの耐震・補修方法の検討 考慮した点は、ピット内は常に流水があるため、WLができるだけ変化しないよう。壁体の強度をあげるだけでなく、鉛直・水平荷重を低減する方法も検討などした。



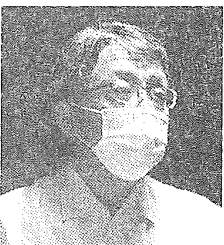
佐々木氏

帝国コンサルタントの佐々木郁夫氏 画像処理を用いたトンネル点検新技術 地方自治体(インフラ維持管理)への導入課題 費用対効果が少ない、各社のニーズが一致しない、発注制度の見直しなど。関係部局との情報交換が重要。



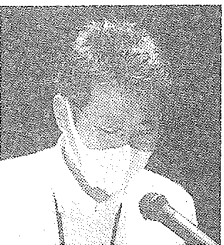
山口氏

道端組の山口訓久氏 i-Construction 新幹線工事のプレキャスト化 福井開発高架橋でLRV工法採用 建設用地は既設鉄道間の狭あい箇所、えち鉄高架化工の仮線利用中で、新幹線の着工遅れも。工期短縮が絶対。



田村氏

京福コンサルタントの田村英己氏 骨材の岩種とASRの関係に関する調査事例 仮に反応性鉱物を含む岩石が含まれる場合でも、含有率が低い場合にはASRを生じる可能性は低いとされ、慎重な調査を行う必要性がある。



山内氏

公益財団法人福井県建設技術公社の山内義康氏 橋梁点検発注者の支援業務について 2巡目点検に入り、事務所判定会議では、判定基準の統一化や、正確な資料作成、判定しやすい所見文の作成など、スピードアップを図っている。



山川会長あいさつ

21年度の技術交流会開く

会員6氏が現場で考えた成果を披露

福井県コンクリート診断士会(山川博樹会長)が主催する毎年恒例の技術交流会「会員によるコンクリート診断事例等の発表」は8

月27日、福井市宝永3丁目の県国際交流会館で開催された。同会の第118回研

修会に位置付け。冒頭、山川会長が挨拶。「研修の基本はリアル(コロナ対策を徹底した上)で。子ども

は、新幹線工事(高架道端組の山口訓久氏は、新幹線工事(高架

と。これが建設業の遣り甲斐と誇った。

が勉強するうちに、大人も同様にしなければ」と、勉強を継続する重要性を強調した。発表は、会員6人が順に登壇した。各氏、現場で実感し、考えた成果を紹介。参加者の質問にも応えた。

上)で、今冬の大雪時に進めた除雪作業風景を紹介。また完成時の記念写真も披露し、「(工事の無事完成は)職人さんたちと一緒に、知恵を出しあった成果。みなさん本当い